



“復興の人間科学 2021”

『福島原発事故10年の経験から学ぶ』

—当時小学生だった若者達との対話から—

Lessons from 10 years of experience after the Fukushima nuclear accident: From the dialogue between young victims and researchers



ZOOM参加の方は
こちらから申し込み
<https://431279.com/>

【ご挨拶】 10:00～10:10

扇原 淳（早稲田大学教授・人間総合研究センター所長）

平田 修三（シンポジウム実行委員長，仙台青葉学院短期大学講師）

【第1部. 被災当事者学生による講演】 10:10～13:00

1. 被災当事者学生5名（双葉町・福島市・郡山市・いわき市出身）による講演：「原発事故10年の経験/いま考えること」
2. 早稲田大学人間科学部学生による発表：「被災当事者学生へのインタビューを通して学んだこと」
3. 研究者5名によるコメント（臨床心理学・社会心理学・建築環境心理学・行動医学・社会福祉学の立場から）

【第2部. 基調講演】 14:00～15:00

『現在大学生になる被災当事者との対話から私たちは何が学べるか』

金菱 清（関西学院大学社会学部教授，災害社会学・環境社会学）

【第3部. パネルディスカッション】 15:10～16:40

被災当事者学生5名と金菱清・萩原裕子とのクロストーク

1. 原発事故10年の経験の意味・意義を考える
2. ポスト3.11・ポストコロナの日本・国際社会のあり方を考える
3. 若者達による提言

【第4部. 講演】 16:50～17:30

『被災当事者の語りに耳を傾け学ぶことの意義』

萩原 裕子（震災支援ネットワーク埼玉SSN・心理相談チーム代表）

【第5部. シンポジウムのまとめ】 17:30～18:00

根ヶ山 光一（早稲田大学名誉教授，発達行動学）

猪股 正（震災支援ネットワーク埼玉SSN代表，弁護士）

辻内 琢也（シンポジウム大会長，早稲田大学教授，

早稲田大学災害復興医療人類学研究所所長）

2021年11月28日（日）10時～18時（無料・入場自由）

於：早稲田大学大隈記念講堂（地下1階）小講堂

Zoom同時開催（zoom参加の場合ネット申し込み制）

◆主催：早稲田大学人間総合研究センター

◆共催：震災支援ネットワーク埼玉（SSN），早稲田大学災害復興医療人類学研究所（WIMA）

科研費基盤研究（B）：原発事故被災者の移住・帰還・避難継続における新たな居住福祉に関する人間科学的研究

◆問合せ先（WIMA研究所事務局：辻内研究室内）：〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

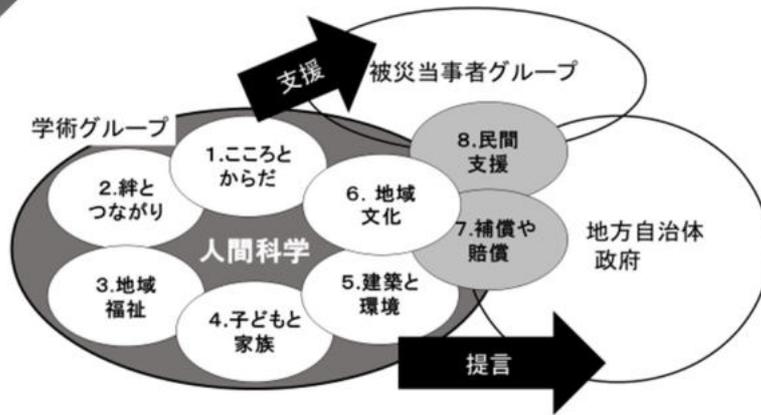
（シンポジウム事務局長・金 智慧）E-mail: shinsai-wima@list.waseda.jp

（震災支援ネットワーク埼玉SSN事務局長・愛甲 裕）E-mail: desk@431279.com



早稲田大学災害復興医療人類学研究所

Waseda Institute of Medical Anthropology on Disaster Reconstruction



■会場のご案内■

早稲田大学大隈記念講堂・小講堂
 会場住所: 東京都新宿区戸塚町1丁目104
 (地下鉄東西線「早稲田駅」徒歩5分、都営バス「早稲田大学正門」徒歩1分、都電荒川線「早稲田」徒歩5分、JR・西武線「高田馬場駅」徒歩20分)



■基調講演者のご紹介■

金菱清先生は、2011年東日本大震災発生当時から、東北学院大学教養学部地域構想学科にて、被災当事者を含む学生たちと共に「東北学院大学・震災の記録プロジェクト」を続けてこられた。著作『3.11 慟哭の記録: 71人が体験した大津波・原発・巨大地震』(新曜社)は、第9回「出版協会新聞社学芸文化賞」を受賞され、その後も、『呼び覚まされる霊性の震災学: 3.11生と死のはざままで』(2012)、『悲愛: あの日のあなたへ手紙をつづる』(2017)、『3.11 霊性に抱かれて: 魂と命の活かされ方』(2018)、『私の夢まで会いに来てくれた: 3.11亡き人とのそれから』(2018)、『震災と行方不明: 曖昧な喪失と受容の物語』(2020)、といった金菱ゼミナールの学生たちとの対話を通じて作成された、学生たちのフィールドワークやインタビュー調査を含めた著作を次々と世に出してきた。大規模授業においても、被災経験のない学生たちに被災体験を想像させ理解を深める新たな教育法を実践されてきている。2020年より、関西学院大学社会学部教授。

■研究所メンバー■

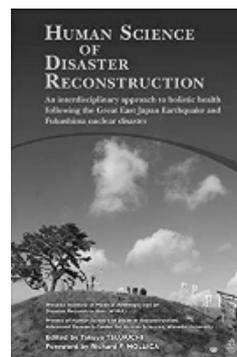
- 【顧問】** 菊地靖 (早稲田大学名誉教授, 開発人類学)
【所長】 辻内琢也 (人間科学学術院教授, 医師, 医療人類学)
【研究所員】 (*運営委員)
 扇原淳* (人間科学学術院教授, 社会医学)
 小島隆矢* (人間科学学術院教授, 建築環境心理学)
 桂川泰典 (人間科学学術院准教授, 臨床心理学)
 熊野宏昭 (人間科学学術院教授, 医師, 行動医学)
 根ヶ山光一 (人間科学学術院名誉教授, 発達行動学)
 金智慧 (人間科学学術院助手, 臨床心理士, 医療人類学)

【招聘研究員】

- リチャードF.モリーカ (ハーバード大学教授, 難民トラウマ研究所HPRT所長, 医師)
 安田常宏 (マサチューセッツ総合病院, 医師, 心臓核医学)
 多賀努 (東京都健康長寿医療センター研究所研究員, 社会学・老年学)
 増田和高 (武庫川女子大学文学部准教授, 社会福祉学, 地域福祉学)
 日高友郎 (福島県立医科大学医学部講師, 衛生学・社会心理学)
 平田修三 (仙台青葉学院短期大学講師, 発達心理学・児童福祉学)
 岩垣穂大 (日本女子大学人間社会学部助教, 社会福祉士, 精神保健福祉士)
 仲佐保 (国際保健協力市民の会SHARE共同代表, 医師)
 関谷雄一 (東京大学大学院総合文化研究科教授, 文化人類学・開発人類学)
 土田マリサ (小石川インターナショナルクリニック, 医師)
 北村浩 (政治経済研究所主任研究員, 政治学)
 桂川秀嗣 (東邦大学理学部名誉教授, 原子核物理学)
 猪股正 (震災支援ネットワーク埼玉SSN代表, 弁護士)
 愛甲裕 (震災支援ネットワーク埼玉SSN事務局長, IT技術者)
 中川正博 (震災支援ネットワーク埼玉SSN, 司法書士)
 萩原裕子 (震災支援ネットワーク埼玉SSN, 臨床心理士)
 佐藤純俊 (全国福島県人友の会代表, 社会福祉主事)

■書籍のご紹介■

- ★『フクシマの医療人類学—原発事故・支援のフィールドワーク』
 辻内琢也・増田和高編著, 遠見書房, 2019
生きることを諦めない.....原発事故で避難してきた人々の記録
 ★『Human Science of Disaster Reconstruction :
 An interdisciplinary approach to holistic health following the Great East Japan Earthquake and Fukushima nuclear disaster』
 邦文題名: 『災害復興の人間科学』 2019
 出版社: インターブックス 編著者: 辻内琢也
 前文: リチャード・モリーカ(ハーバード大学災害精神医学教授)
 ...Amazonで購入可能



ホームページ: <http://www.waseda.jp/prj-wima/>

